

防疫指導

(令和3年度)

目的

県内養魚生産者等に対して魚病被害軽減および水産物の安全・安心の確保のため、予防、診断、治療等の防疫指導および巡回指導を実施した。

実績

防疫指導のうち魚病検査は52件、保菌検査は83件であり、その魚種別及び月別の内訳は表1及び2のとおりであった。

表1 月別魚病検査実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
サケ科魚類													
伝染性造血器壊死症					1	4			1				6
伝染性造血器壊死症＋冷水病		1							1	1			3
細菌性腎臓病＋細菌性鰓病								1					1
細菌性鰓病		1		1							1		3
白点病							1						1
不明				1			2					1	4
アユ													
異型細胞性鰓病	2	1			1	1							5
異型細胞性鰓病＋細菌性鰓病	1												1
細菌性鰓病	3												3
ビブリオ病								1	2				3
エロモナス症										1			1
冷水病		1	2		1								4
健常				1									1
不明	1	2	1									1	5
ニホンウナギ													
ヘルペスウイルス性鰓弁壊死症									1				1
血管内皮壊死症									1	1			2
パラコロボ									1				1
シュードダクチロギルス感染症		1							1			2	4
キンギョ													
キンギョウイルスヘルペス症		1				1							2
ミヤコタナゴ													
エロモナス症							1						1
計	7	8	3	3	3	6	4	2	8	3	1	4	52

表2 月別保菌検査実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
サケ科魚類													
保菌無し	2						1						3
アユ													
保菌無し	11	4	25	3	12	3	1		10	3	4	2	78
冷水病原菌		1	1										2
計	13	5	26	3	12	3	2	0	10	3	4	2	83

(水産研究部)